

自動車ガソリン

成分：ガソリン

CAS No. 86290-81-5（ガソリン）

対象商品名：ハイオクガソリン、レギュラーガソリン

危険



- ・極めて引火性の高い液体及び蒸気
- ・皮膚刺激
- ・眼刺激
- ・発がんのおそれの疑い
- ・肺、腎臓の障害
- ・眠気やめまいのおそれ

- ・長期にわたる、又は反復ばく露による神経の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による血管の障害のおそれ
- ・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

取扱注意

【予防策】

- ・ガソリンエンジンにのみ使用すること。
- ・他の石油製品と混合使用しないこと（事故及びエンジン故障の原因となるため）。
- ・給油時はエンジンを停止させること。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意（SDS等）を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／火花の出ない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。他の容器に移し替える場合には、必ずアースをすること。
- ・ホース等を使用して口で吸い上げないこと。
- ・保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、ミスト／蒸気を吸入しないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・空容器に圧力をかけないこと（破裂の恐れがあるため）。
- ・容器を溶接／加熱／穴あけ／切断しないこと（残留物が爆発・発火する恐れがあるため）。容器を転倒させる／落下させる／引きずる／衝撃を加える等の乱暴な扱いをしないこと。
- ・環境への放出を避けること。

【対応】

- ・火災の場合：消火には粉末消火器を使用すること。
- ・こぼした場合：直ちに拭き取ること。
- ・皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を大量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断／手当てを受けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合／気分が悪い場合：直ちに医師に連絡すること。医師の診断／手当てを受けること。
- ・特別な処置が必要である（このSDSの4.応急措置を参照）。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- ・医学的な助言が必要な場合：製品容器やラベルを持っていくこと。

【保管】

- ・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
- ・換気の良い場所で保管すること。
- ・子供の手の届かないところに置くこと。

【廃棄】

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

消防法 危険物 第4類第1石油類 危険等級Ⅱ 火気厳禁

【連絡先】

出光興産株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号

TEL：（0120）132-015（お客様センター）

